

日本共産党8議席から
9議席に前進

「維新政治ノ」の 願いにこたえます



4月12日の市議選で、日本共産党は8議席から9議席に前進しました。くらしと教育、民主主義を壊し、その総仕上げの「都構想」に暴走する橋下・維新政治に、「ノー」の願いにこたえます。

くらしの切り捨て

●敬老パスを改悪

橋下市長は、2011年11月の選挙で「敬老パス維持 私鉄にも」と選挙公報などで公約。それを「大阪市民はぜいたくしている」と言って有料化を強行しました。

●市民病院を廃止

橋下市長は、7万人の反対署名を無視して住吉市民病院の廃止を強行。「二重行政のムダを省く」「年間5億円浮く」と言う橋下市政。これには、市民の健康や命よりお金とばかりの批判が広がります。市も閉院時期を「1年半〜2年先送り」すると言わざるを得なくなっています。

●国保料を連続値上げ

国保料の引き下げは切実な願いです。ところが、橋下市長は国保会計は4年連続黒字なのに、2013、2014年と連続値上げで、くらしを圧迫してきました。批判にあい2015年度は据え置かざるを得なくなりました。

橋下市政でくらし
切り捨て次つぎ

- 全国の20大都市中一番高い介護保険料に（一〇五年）
- 赤バス廃止、市バス路線の縮小・廃止
- 水道料金の福祉減免の廃止
- 地域の見守り活動への補助金削減
- 老人憩の家への補助金削減



▶ 2011年11月に執行された
大阪市長選挙の選挙公報



▲ 住之江区医師会の住吉市民
病院廃院廃止反対ポスター

教育への介入と
現役世代泣かせ

教育に市長が介入するための条例や学力テストの学校別公表、不祥事続出の公募校長：維新は、教育現場に強制と競争、混乱を持ち込み、子どもの成長を脅かしてきました。

また、「新婚世帯家賃補助廃止」「保育士配置基準の改悪」「幼稚園保育料の大幅引き上げ」など、子育て世代泣かせを強行しています。

しかも、子ども・教育予算は、ほとんど横ばいなのに「(前市長の)教育費の5倍、6倍にした」とタウンミーティングでウソの宣伝を繰り返しています。

予算の中から橋下市長が抜き出した事業だけを
集計して「大幅増」と宣伝する維新のビラ



司法も断罪
民主主義こわし



▲ 裁判で相次ぐ断罪

橋下市長は、「職員は市民に命令する立場」「職員は市民の顔色ではなく、市長の顔色を見て仕事をするのが当然だ」と言い放ち、憲法違反の思想調査などを強行。裁判で「違法」との断罪が相次いでいます。

維新のいう「二重行政のムダ」

3つのウソ

ウソ1

いま、ただすべき「二重行政」のムダはありません

橋下市長は、旧WTCビルなどを、“二重行政のムダ”と宣伝します。しかし、これらは80～90年代に、ゼネコン奉仕で作ったもの。政策の失敗です。橋下市長が「一重行政」と絶賛する東京都でも失敗しています。

ムダな巨大ビルなどに日本共産党は一貫して反対し、バブル期のような事業にはストップをかけています。橋下市長の言うムダな二重行政はありません。「市幹部も『近年は過剰な開発はしていない。今は二重行政はない。幻だ』」(4月8日付「毎日」)と報道されています。

橋下市長が「一重行政」という東京都も政策を間違え大失敗

東京都は、一人の「指揮官」で臨海副都心開発や新銀行づくりなどで大赤字を出す大失敗をしてきました。

都・臨海三セク破たん
資金投入続け負債3800億円
累積損失1016億円
新銀行東京都の出資額上回る

ウソ2

「都構想で2700億円」と新たなゴマカシ

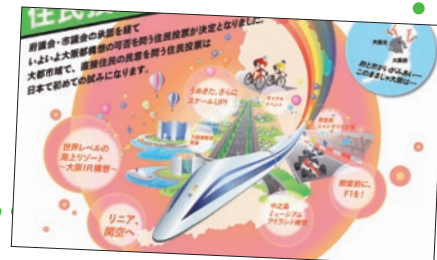
橋下市長は、ありもしない「二重行政のムダ」が「都構想」でなくなり、大きな財源が生まれるかのように宣伝します。「4000億円」浮くと言っていたのが、市の試算でも「1億円」しかないことが判明。そこで新たに「2700億円の財源可能額が生まれる」とバラ色宣伝を持ち出しますが、これもウソです。

- ①地下鉄やごみ収集民営化による「効果額」
- ②市有地売却による収入など

「都構想」と無関係のものを入れた水増しです。「都構想」で「財源活用可能額」は生まれません。一方、橋下市長も認める初期費用600億円が重くのしかかります。

「都構想」でやろうとしているのはムダな大型開発

橋下市長は、「世界とたたかえる大阪にする」と言って、カジノや、リニアなどをかけます。かつて失敗したムダな大型開発を「都構想」の目玉としてやろうと言うのです。



▲カジノや「リニア、関空へ」などと宣伝する維新のピラ

ウソ3

福祉・医療は二重、三重にやってこそ

維新は、二重行政のムダをなくすのが「都構想」と言い、病院や学校、図書館、体育館など市民に利用され、喜ばれている施設・施策を削減すると言います。

とんでもありません。医療や福祉、中小企業・雇用対策は国、府、市で二重、三重に行い、市民の生活を守るべきです。もちろんムダづかいは一重であれ、二重であれなくすのは当然です。

オカシイ!

市民に親しまれ、役に立つ施設——ムダでないのに、“二重行政”と目の敵に!

大阪府	障がい者交流促進センター	福祉	障がい者スポーツセンター	大阪市
	府立急性期・総合医療センター	医療	住吉市民病院	
	府立公衆衛生研究所	保健・環境	市立環境科学研究所	
	府立中央図書館	文化	市立中央図書館	
	府立体育会館	スポーツ	市立中央体育館	
	ドーンセンター	男女共同参画	クレオ大阪	
	マイドーム大阪	中小企業支援	産業創造館	
	府立大学	大学	市立大学	



5月17日の住民投票には
「反対」と書きましょう
日本共産党